

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲には、流動資産に計上されている現金預金のみを含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

| 科目        | 前期末残高     | 当期末残高     |
|-----------|-----------|-----------|
| 現金        | 360,028   | 306,079   |
| 普通預金      |           |           |
| 横浜銀行鎌倉支店  | 23,638    | 23,206    |
| みずほ銀行鎌倉支店 | 3,231,320 | 3,869,541 |
| 郵便振替口座    | 0         | 0         |
| 次期繰越収支差額  | 3,614,986 | 4,198,826 |

### 3 予算額と決算額の差異が著しい科目については、その科目及びその理由

科目：流鏝馬収入・流鏝馬開催費

理由：予算作成時より2行事追加されたことによる差異

科目：受託収入

理由：予算作成時においては想定していなかったことによる差異

科目：広報宣伝費

理由：受託収入に対応する費用による差異

広報宣伝費に含まれる費用は直接費・間接費合わせて 7,457,994円 となる。

科目：研究費

理由：当年度ではまだ準備が整わなかったことによる差異

### 4 科目間の流用及び予備費の使用があった場合には、当該科目及び金額

特段無し

### 5 その他公益法人の収支の状況を明らかにするために必要な事項

特段無し